

令和5年 飯田市教育委員会7月定例会会議録

令和5年7月25日（火） 午後3時00分開会

【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	上河内 陽子
教育委員	野澤 稔弘

【欠席委員】

教育委員	三浦 弥生
------	-------

【出席職員】

教育次長	秦野 高彦
学校教育課長	福澤 好晃
学校教育専門幹	今井 栄浩
生涯学習・スポーツ課長	伊藤 弘
文化財保護活用課長兼考古博物館長	宮下 利彦
市公民館副館長	上沼 昭彦
文化会館館長	下井 善彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
学校教育課長補佐兼総務係長	櫻井 英人

日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） それでは時間になりましたので、令和5年7月教育委員会定例会を始めたいと思います。よろしくお願いします。

日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 日程第2、会期の決定。7月の定例会の会期を本日1日といたしますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、では進めてまいります。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 日程第3、会議録署名委員の指名。会議録署名委員を北澤正光教育長職務代理者をお願いいたします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） はい。

○教育長（熊谷邦千加） よろしくお願いします。

日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 日程第4、会議録の承認。6月定例会の会議録をご確認ください。

何かご意見がありましたらお願いいたします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） 修正等なしということで承りたいと思います。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程第5、教育長報告事項。

別紙をご覧いただきたいと思います。

今月は6つの項目がございます。まず、弓道の全国大会、2つの大会があってその報告を岩村さんからいただきました。弓道連盟の方たちもそうなのですが、そういう中で私が印象に残ったのは、いつも残身という動きを、日本の武道の型って思っていたんですが、お聞きするとその残身がすごく大事で、今射たそれを振り返るとても大事な時間でもあり、ルーティーンというかそういう部分だっということをお聞きして、何ごとも振り返りが改

めて大事なんだなっていうことをお聞きして思いました。弓道をやられる方は時期があって、とてもよく当たる時期というのがあるんだそうですが、それは人によって違うということも興味深くお聞きしました。

2番の飯田東中学校のリンゴ並木 70周年に向けての取組、市長表敬というのがありましたが、これは記者会見も行いました。リンゴ並木の樹木の案内をする、この木が陽光だとかふじだとかという看板が大分古くなって、植え替えた木が看板と違う木が植わっているようなことがありまして、更新をしたいと。それについては、クラウドファンディングをしていくということで、クラウドファンディングの目的はお金を集めるということだけではなくて、リンゴ並木の取組をより多くの人たちに知ってもらいたいというような願いで生徒の皆さんが考えています。そういう中で、記念手ぬぐいだとかひさかた和紙と水引を使ったストラップ作成等についての広報がありました。

さらに 70周年に向けて、陸前高田市の高田東中学校との交流等も進めているということでもあります。ちょっと調べてみたら昨日 1 時現在ですけれども、目標が 170 万のところ 141 万 5,000 円でした。募集は 8 月 25 日までということでもあります。

ちょうどその頃、地方財政審議会の委員のお二人が、このリンゴ並木に興味をお持ちで、まちづくりにも関わるといふようなことで、私がリンゴ並木の歴史等についてお話をさせていただきました。

それから 3 番はトークイベントを公民館でやってくれているわけですが、歴史研究所の羽田さんとか、美博の学芸員の近藤さんとか、それから伊那谷自然友の会の桐生さんが 10 分ずつ短時間でトークする催しがありました。私は非常に興味深くお聞きして、人は集まっていたんですが、中高生などさらにもっと多くの方がちょっと耳を傾けてもらうといいなあということを思いました。

ちょうどそのときに、今、高校二年のそれこそムトス推進会議の協力も得て、飯田市の水引の良さを広げるために松本へ行って販売とか広報活動をするという、その子が声をかけてくれまして、非常に前向きな姿勢にびっくりしました。たまたま中学 1 年生の頃の姿を知っていたので、成長が感じられてすごいなと思うところでもございました。

4 番目のことについては、総会が行われまして、大学誘致のあり方を少し幅を広げていくと。飯田市の強みでもある脱炭素というか、グリーントランスフォーメーションというんだそうですが、そういったものを生かして大学誘致をさらに広く、幅広く進めたいということを確認させていただいた会議になりました。

それから 5 番目は、これは皆さんにお世話になったものでありますけれども、三遠南信

教育サミットの飯田市の開催、本当にお疲れ様でした。

それから最後の三遠南信中学生交流会の結団式がありました。そして高校生のカンボジア・スタディツアーの参加者との懇談というのもありまして、いずれも中学生も高校生も非常に前向きな姿で話していました。非常に若い人たちの姿に大いに刺激をいただくなあと感じたところでありました。

以上、私の報告とさせていただきます。

ご質問等がありましたら出していただきたいと思います。

(発言する者なし)

日程第6 議案審議（3件）

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして、日程第6、議案審議。

本日は3件の議案についてご審議をいただきます。

議案第50号 令和5年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について

○教育長（熊谷邦千加） 議案第50号、「令和5年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは議案第50号、令和5年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について、4ページをお願いいたします。

認定対象者につきましては、別紙でご用意させていただいたとおりでございます。それぞれ記載をいたしました認定要件にて、認定いただきますようご提案を申し上げます。

以上、よろしくをお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいま説明のありました議案第50号につきましてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「特にございませぬ」との声あり)

○教育長（熊谷邦千加） 承認いただくということでよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

議案第 5 1 号 学校教育法附則第 9 条に基づく教科用図書の採択について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第 51 号、「学校教育法附則第 9 条に基づく教科用図書の採択について」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 議案第 51 号、学校教育法附則第 9 条に基づく教科用図書の採択についてでございます。

こちらは特別支援学級に在籍予定の児童に対する指導のため、学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書の使用について松尾小学校より申し出がありましたので、同条及び学校教育法施行規則 139 条の規定により申し出のとおり採択をお願いしたいというものでございます。

提案理由として、松尾小学校長から令和 5 年度特別支援学級に在籍予定の児童には、個に応じた指導が必要であり、検定済み教科書による指導が困難なため、別紙こちらの 6 ページになりますが、こちらに掲げる図書を法附則第 9 条の規定により教科用図書として使用したい旨の申し出がありましたので、これを認め規則 139 条の規定により教科用図書として採択を提案するものでございます。

以上、よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第 51 号につきましてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ご承認いただいたということで、ありがとうございました。

議案第 5 2 号 小学校教科用図書の採択について

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして、議案第 52 号、「小学校教科用図書の採択について」、議題とさせていただきます。

まずはこの案件の審議について説明をさせていただきますが、先ほどのとは違って全ての子どもたちが使う教科書であります。学校で使用する教科書を決定する権限はそれぞれの市町村の教育委員会にあります。無償措置法という法律によりまして地区内の市町村で共同して種目ごとに同一の教科書を採択できることとなっております。

長野県教育委員会では、飯田下伊那地区を教科書の共同採択地区として設定をしております。

そこで本案件を公開して審議することは、他の町村教育委員会の審議にも影響すると判断をいたしますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第 14 条第 7 項の規定によりまして、本案件を公開せずに審議したいと思います。

お諮りをいたしますが、議案第 52 号につきまして、公開せず審議することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 52 号については、公開せず審議をすることと決定いたしました。

それでは、飯田市教育委員会会議規則第 15 条の規定により傍聴者の退席をお願いいたしますが、今現在いらっしゃいませんので、このまま続けさせていただきたいと思います。

続きまして、審議の公開はしませんが、議事録の公開についてお諮りをいたします。

教科書の採択権者は、会議の議事録等の公表の努力義務が課せられておりますので、議事録については公表するというところでよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ご異議なしと認めます。

よって、議案第 52 号に関する議事録について公表することに決定いたしました。

それではこの案件についての審議を進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは議案第 52 号、小学校教科用図書採択についてお願いいたします。

7 ページ目になります。こちらまず前段で概要をご説明させていただきまして、その後、一覧表に基づきまして選定等の理由をご説明申し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。

採択をお願いする教科書につきましては、飯田市の小学校において令和 6 年 4 月 1 日より令和 10 年 3 月 31 日までの間、使用する、全教科の教科用図書を採択いただきたいものがございます。

なお、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条第 5 項で、「当該採択地区内の市町村教育委員会は採択協議会における協議の結果に基づき、種目ごとの同一の教科用図書を採択しなければならない」と規定されており、飯田下伊那の小中学校は同一の教科用図書を使用することとなります。

教科用図書の採択につきましては、先般7月13日に下伊那採択地区協議会と調査研究委員会、この合同会及び下伊那採択地区協議会が開催されましたので、その調査研究委員会から調査研究報告に基づき、下伊那採択地区協議会にて審議がされました。下伊那採択地区協議会におきまして、飯田下伊那地区において使用する教科用図書が選定された旨の通知がございましたので、今回それを受けて教育委員会で採択をお願いするというものでございます。

採択をお願いする教科書につきましては、8ページから9ページの11教科13種目で、種目ごとに発行者、書名、選定理由を記載してございますので、そちらを読み上げましてご説明申し上げますので、8ページ目から9ページ目の令和6年度以降使用教科用図書選定表をご覧くださいと思います。

また、それぞれの委員の足元には、選定の図書を置かせていただいておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、一番上の国語でございます。光村図書出版、書名、「国語」でございます。選定理由は「児童の発達段階に応じた身近で生活に関連した話題・題材が取り上げられ、単元初めの『問いをもと』で児童が自らの問いや願いを持ち、目標に示された学習の道筋に従って主体的に学びに向かえるように配慮されている。デジタルコンテンツの効果的な活用等により、個別最適な学びや協働的な学びを進めることのできるような教科書となっている」ということでございます。

続きまして国語書写。こちら光村図書出版でございます。書名は「書写」。「児童の発達段階に応じて、習得と活用を繰り返しながら書写の基本が身につくよう配列が工夫されている。単元の学習のねらいが明確で、学習の進め方が分かりやすく展開されており、課題解決に向けた学習ができるよう配慮されている。また、身の回りの文字文化にも目を向け、日々の書字活動に生かせるような構成の教科書となっている」というものでございます。

次、社会でございます。こちら東京書籍、「新編新しい社会」でございます。「学習問題に対する複数のアプローチが示されて、多角的な追求や個別最適化された追求にも対応できるように複数の社会的な見方・考え方をを用いた学習を展開できるようになっている。また、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「いかす」の4つの学習段階が明示され、身近な課題から主体的な社会参画につながっていく学習で、学びが深まっていくよう工夫されている」というものでございます。

続きまして、社会の地図ですが、帝国書籍「楽しく学ぶ小学生の地図帳」です。選定理由は「地形図が全体的に明るく、鮮やかな色調が用いられた立体感のある表現となっていて、

地形図の情報を読み取りやすいよう配慮がされている。親しみやすいイラストを導入して、初めて地図帳を手にする三年生にも扱いやすい構成になっている。また、豊富な地形図や資料があり、資料の活用能力を高められるとともに、地理学習だけでなく歴史や外国語などの幅広い学習にも対応ができるよう工夫されている」ということでございます。

続きまして算数、こちらは新興出版社啓林館になります。書名は「わくわく算数」ですが、「数学的に考える資質・能力を育成するため、数学的な見方・考え方の系統性を重視した単元構成となっている。児童が自ら問いを持ち、見通しを立てて追求し、よりよい課題解決に向かうことができるよう工夫されている。また、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする創造的な態度や学んだ算数を生かそうとする態度を培えるよう工夫されている」。

それから、続きまして理科、信州教育出版社です。書名は「楽しい理科」。「身近な自然に親しみながら、自ら問題を見出し、見方・考え方を働かせて主体的に問題解決が行われるよう工夫されている。また、学んだことを生活との関わりや日常的な事物・現象に当てはめて考察するよう工夫されている。季節の特徴や生物の成育状況などを考慮して単元配列され、適時期に観察・実験や飼育・栽培活動ができるよう配慮され、実感を伴った理解が図れるよう工夫されている」。

続きまして、生活、こちら同じく信州教育出版社です。書名は「せいかつ」ですが、「あおぞら」と「そよかぜ」の上下2巻になっておるかと思います。「学習活動が児童の願いから立ち上げられるよう工夫され、具体的で連続的な体験活動により、自己の成長や気づきの質を高められるように配慮されている。また、長野県の地域性を大切にしたい単元を設定し、県内の学校の実践から生まれた記述や写真・作品が掲載され、身近な地域や季節の行事、飼育・栽培活動など、家庭や地域と連携して学習できるよう工夫されている」というものでございます。

9ページ目にまいりますが、音楽、こちら教育芸術社の「小学生の音楽」です。選定理由は「白を基調とした紙面デザインで、全体の統一を図り、それによって色覚特性や発達障害がある子どもにもユニバーサルデザインを意識した配慮がされている。また、SDGsにつながる視点を提示して、社会と音楽との関わりについて考えるきっかけになるよう工夫されている。さらに、学習問題が明記されており、学級担任が授業をするとき見通しを持って進められるよう配慮されている」。

続きまして図画工作ですが、こちら発行者は日本文教出版です。書名は「図画工作」。「多様な素材、表現を用いた作品を掲載するとともに、一から六学年を通した学びを見据

えた系統的な課題配列と、相互鑑賞による表現と鑑賞の一体化が意識されている。また、ICT活用による学びの広がり、用具使用上の徹底した安全面への配慮がなされ、情報量も適切で『令和の日本型教育』を意識した教科書となっている」ものでございます。

続きまして家庭です。こちらも東京書籍です。「新編新しい家庭」でございます。「衣食住に関する内容が児童の発達段階に応じて系統的に配列されており、問題解決的な学習を進められるよう3ステップで構成されている。また、他者と協働して学習を深められるとともに、自分の生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てられるよう工夫されている。さらに、見出しやイラスト、写真の内容が具体的であり、児童が理解しやすいよう配慮されている」というものでございます。

続きまして保健になります。こちらも東京書籍になります。「新編新しい保健」でございます。選定理由は「学習の流れが『気付く・見つける』から『調べる・解決する』、そして『深める・伝える』、『まとめる・生かす』を基本に構成され、主体的・対話的な学びにつながるよう工夫されている。ステップごとに記述欄があり、学びの様子を記録・確認しやすい。多様性が大事にされたイラストが随所に配置されている」と、そういったことが理由でございます。

続きまして英語です。こちらも光村図書出版。書名は「Here we go!」。「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて主体的に表現できるよう工夫されている活動が多く設定されている。各ユニットでは、児童の身近な環境や行事を通して英語を学び、年3回位置付けられている「まとめ」を通して世界の国々について学んだり、英語を使って発展的な活動を行ったりすることができるよう構成が工夫されている」ということが選定理由です。

最後になりますが、道徳、こちらも光村図書出版になります。書名は「道徳きみがいちばんひかるとき」でございます。選定理由は「多様な視点、心に響く教材により様々な道徳的価値に触れられる配慮があり、児童の成長に寄り添うように年間を3つのまとまりに分けて配置し、様々な感情を引き出しながら、発達段階に合わせて対話する力を育むことができるよう工夫されている。各教材末の「考えよう・話し合おう」には、明確な発問があり児童が考える視点を持ちやすく、児童の考えが深まっていくよう工夫されている」という選定理由でございます。

以上、下伊那採択地区協議会では、適切に審議がされましたので、その選定理由を含め、ご説明を申し上げます。

以上、よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第 52 号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。

北澤職務代理。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 意見ではないのですが、今も福澤課長に説明していただいたとおりなのですが、私はこの場に居合わせて関わっていた者なので、そのときの様子を若干補足させていただきます。調査研究委員には学校の先生方をお願いして、実際に授業で子どもたちと関わってこの教科書を使っている、そういう立場から様々な角度から検討をいただいて、それぞれの教科書会社の教科書の特色についての報告をいただきました。

それを受けて採択地区の協議会の委員は、14 市町村の教育長さんを中心に、教育委員が何人かと、保護者の代表の方にも入っていただいて構成しています。ここでかなり熱心に議論がされて、教科によっては最後、投票で採決をして決めたといったところもありました。文言に書かれて、今説明いただいた部分にプラスして、実際教科書に触ってみて紙質とか大きさとか、それから色合いとか、そういったことまでいろんな角度から議論をして、最終的にこのものを採択したらどうかと決まってきたという経過があります。

公平性とか透明性とか、そういうところが担保されてここまで決まってきたというふうには私個人は受け止めています。

そんなことも追加でご報告申し上げます。以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、そのほかご質問、ご意見がありましたら。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） それでは今回の議案第 52 号につきまして、ご異議ございませんでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。では、ご承認いただきました。

日程第 7 協議事項

○教育長（熊谷邦千加） では、日程第 7 に入ってまいりたいと思います。「協議事項」。

本日は 2 件についてご協議をいただきます。

（1）令和 5 年度小学校運動会・中学校文化祭等の参列者について

○教育長（熊谷邦千加） 最初に、令和5年度小学校運動会・中学校文化祭等の参列者について、
福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは資料No.1、10ページをご覧くださいと思います。

令和5年度小学校運動会・中学校文化祭等の参列者についてでございます。

全ての小中学校に今年度の行事等に関しまして、過去3年コロナ禍でなかなか教育委員会でのご案内、あるいは出席等がありませんでしたので、行事への参加の必要かどうかということを照会をいたしました。その結果、7つの小学校、それから3つの中学校で運動会・文化祭、それから飯田東中学校に関してはりんご並木70周年を記念式典ということですが、それぞれご参加をいただきたいという要請があった、そちらに関してを一覧表にお示しをしました。

参列者に関しましては、教育委員の皆様方には地元を中心にお願いをし、お名前を入れさせていただきますいております。こちら案でございます。参列日、それから雨天の順延日等も書かせていただいております。また、開式の時間等もございますので、それぞれのご都合もあるかと思いますが、ご確認をいただき、また都合等変更の必要がありましたらご意見をいただきながら本日、決定をしまいたいと思います。

なお、私の名前が入っておりますが、本来であれば教育次長が参加をするということでここにお名前を入れるところですが、たまたま次長にはほかの公務が入っておりまして、出席ができませんので、私の名前を入れてございますが、ほかの教育委員さんとのご都合をお伺いしながら決定をしまいたいと思いますので、ご意見等よろしくお願ひいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいま説明のありました小学校の運動会・中学校文化祭等の参列者につきまして、これはあくまで案で勝手に入れさせていただいておりますので、ご都合等ありましたらご質問、ご意見等いただければと思いますが、いかがでしょうか。

野澤委員。

◇教育委員（野澤稔弘） すみません、申し訳ありませんが、9月30日ちょっと私が代表している会の催し物があるので、どなたか変わっていただけますか。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 私、変わってもいいですよ。

◇教育委員（野澤稔弘） 24日の日曜日だったら大丈夫です。よろしいですか。

◇教育長職務代理者（北澤正光） はい。

○教育長（熊谷邦千加） では、職務代理と野澤委員が交代します。ご都合をお聞きせずに割振りしてありますので、遠慮なく申し出てください。ほかにご都合の悪い方、よろしいでし

ようか。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 本日、三浦委員がご欠席ですので、また三浦委員にも確認をさせていただきます、必要があればまたご相談申し上げたいと思いますがよろしいでしょうか。

○教育長（熊谷邦千加） では三浦委員にもお聞きしてから決定したいと思います。

ほかよろしいでしょうか。

◇教育委員（野澤稔弘） ちょっと確認なんですけど、これはこの到着時間にここの学校へ行っていけばよろしいんですか。

◎学校教育課長（福澤好晃） はい。

◇教育委員（野澤稔弘） ドレスコードはありますか。

◎学校教育課長（福澤好晃） はい、大丈夫だと思います。

◇教育委員（野澤稔弘） 普段着でもよろしいですかね。

○教育長（熊谷邦千加） どうぞ、福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それぞれの学校よりまた正式なご通知ご案内があると思いますので、そちら来ましたところでそれぞれご確認させていただきたいと思います。

◇教育委員（野澤稔弘） はい、分かりました。

○教育長（熊谷邦千加） ラフじゃなければいいと思います。

◇教育委員（野澤稔弘） はい、分かりました。

○教育長（熊谷邦千加） ほかよろしいでしょうか。

野澤委員。

◇教育委員（野澤稔弘） 拘束時間はどれくらいになりますか。終わるまでいた方がいいのですか。

○教育長（熊谷邦千加） 福澤課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それはないと思います。それぞれの学校の対応になると思いますが、一般的には例えば開会式のみで失礼をしたい、あるいは午前中おられてっていう状況がございますので、そちらは来賓として可能な時間でご対応いただければいいと思います。

◇教育委員（野澤稔弘） はい、分かりました。ありがとうございます。

全く初めてなので。

◇教育長職務代理人（北澤正光） 余分なことかもしれませんが、結構地域で呼ばれて行っている来賓の皆さんも、3種目くらいのところまでを見て、大体この辺でといって何人かの方が席を立たれるので、その流れに乗って一緒に戻って来ていました。

◇教育委員（野澤稔弘） 分かりました。

全く初めてなので、すみません。

○教育長（熊谷邦千加） 最大限午前中でいいと思いますけど、午前中の真ん中くらいで大体引き上げる方は多いので、それに合わせていただいていいですし、お忙しければ最初のところだけでもいいかと思います。

◇教育委員（野澤稔弘） 分かりました。

○教育長（熊谷邦千加） ほかにいかがでしょうか。

（発言する者なし）

（２）令和５年度小学校及び中学校教育課程研究協議会の出席者について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、（２）に行きます。令和５年度小学校及び中学校教育課程研究協議会の出席者について。

今井学校教育専門幹。

◎学校教育専門幹（今井栄浩） それでは11ページからになります。お願いいたします。

まず、長野県小学校及び中学校教育課程研究協議会ですが、こちらは県教委、それから市町村教委、郡市校長会の共催で行われる授業研究会の場であり、多くの場合は対象校で1教科研究を行い、当日1クラス1時間の授業公開をして、参加した先生方が学び合うという形態をとっています。

今年度は、13の郡市ごと小学校と中学校を会場として、各教科に分かれ、9月から10月にかけて行われます。飯田下伊那地区では、小学校が10月13日、国語、算数、その他全ての教科に分かれ13会場、つまり13の小学校が会場になります。中学校は、9月7日に12教科に分かれ12会場で行われます。

当日は午前中、開会式と当日の授業に向けての説明、その後1時間の授業公開、それから1時間程度の研究会、ここまでが多くの場合午前中になります。午後は、県の指導主事による県教育委員会からの伝達事項の研修と、教科ごと特色を生かした研修会の研究協議が行われます。

この3年間は中止になったり、オンラインや学校職員のみ参加であったりと制限をしておりました。今年度は、主催者である飯田市教育委員会は参加する方向となりましたので、飯田市で開催される会場について出席を事務局で先ほどと同じように割り振らせていただきました。

当日、原稿をお渡しますので主催者として開会式でごあいさつをお願いいたします。1

日開催しておりますので、ご都合のつく時間まで結構です。教育課程研究協議会の様子を見ていただければと思います。

また、各会場の日程については、飯田市の開催分について 12 ページから掲載してあります。ご都合が付かない場合には調整をいたしますので、日程の確認をよろしく願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 3者と今、説明があったとおりであります。県教委は指導主事が代表してあいさつをします。市教委は、飯田市教育委員会が開催をします。校長会は、会場校の校長先生が代表をしてあいさつということで、3者がごあいさつをします。そのお一人ということをお願いいたします。

補足説明ですが、12 ページにあるように、どこまでいけばいいかということで、これもまた運動会と同じで最大限でお昼まで、午前中でいいかと思います。そこまででなくても例えば理科の川路小学校の日程および連絡のところを見ていただくと、開会行事の後すぐ会場校提案授業の説明というのがあり、そこから研究授業の移動時間がありますので、その1、2、3番辺りで退席されてもいいと思いますし、研究授業を見ていただいてから退席されてもいいかなと思います。またさらに次の授業研究会までご覧いただいてもいいかと思います。それぞれのご都合によってご出席いただければということでもあります。

この教育課程研究協議会の出席についてご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

これも勝手に割振りをさせていただいていますので、何かご要望等でこちらの学校がいいとか、この日は都合が悪いとかありましたらご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

（「大丈夫です」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） 大変お手数をおかけしますが、主催者のごあいさつをいただくということでよろしくお願いをいたします。

日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、日程第8、陳情審議でございますが、今回、陳情審議はございません。

日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） それでは日程第9、その他に入ります。

(1) 教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 最初に「教育委員報告事項」。

それではどなたからでも結構ですが、報告事項がございましたらお願いをいたします。

野澤委員、お願いします。

◇教育委員（野澤稔弘） 6月26日に主幹指導主事の帯同で竜東中学校に行っていました。

中身に関しては、多分もう既にお話があったのではないかなと思うんですけど、ご懐妊された方がいらっしゃったということで、ちょっとそのことについてまた相談したいという話がありましたので報告を申し上げます。

あとは、花壇のことでちょっと気候が大分変なふうになっているので、うまくいくのかなって感じでちょっと心配なところがあるんですけども、まだ私たち行ったときには花壇に手が付いてなかったもので、これからなんだなという感じだったです。

雑駁ですけど以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

SBCで竜東中学校、毎年賞をいただいているので、これからですね。

◇教育委員（野澤稔弘） まだやってなかったんで、今年やるのかなって感じだったです。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

さらにいかがでしょうか。

上河内委員。

◇教育委員（上河内陽子） 7月14日金曜日、第27回三遠南信教育サミットに参加させていただきました。

飯田市が会場ということで、多くの市町村から飯田市に集まっていただき、いろいろ学ぶことができました。最後に交流会というのもできたわけなんですけれども、コロナ禍ではできなかった対面でのいろいろな語らいというのができて、非常に興味深い時間でありました。

その中で豊川市が市政80周年ということで、豊川海軍工廠の平和公園での記念事業があるということをお知らせしていただきました。そこでいろいろボランティアのガイドとして活動していらっしゃるという教育委員の菅沼さんとお話することができ、大変熱心にその海軍工廠の歴史などをガイドで市民の方や来た人にお話されているという活動のお話を聞きました。

この豊川海軍工廠は、戦時中に壊滅的な被害を受けて、空襲によって多くの人が亡くな

っている中で、長野県の出身者も2,900人ぐらい亡くなっていると聞いております。飯田市の歴史研究所でも、豊川海軍工廠が疎開工場として、天竜峡、川路にあったということをお原 英章先生が研究をされていたので、とてもつながりがあるなあと感じました。

三遠南信という地区というのは、県も3県に跨がって、長野県の枠だけではない他県の様子を知ることができるというのは、とても面白いな、非常に刺激もあるなというふうに思います。なかなか中には分からないことを、本当に隣県の方たちの活動の中、活動を教えていただくことで刺激を受けました。

例えば、教育長の報告事項の中にもあったように、豊田市の「のびるん de スクール」というようなことですか様々な面白い話を聞きましたので、飯田市の教育委員会としてもそういったことを交流させていただく中で、良い面を取り入れていけるといいなというふうに感じたサミットでした。

大変ありがとうございました。

○教育長（熊谷邦千加） 北澤職務代理、お願いします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 今の上河内委員さんのつながりのようなところですけど、教育長の報告にもありましたが、これからの飯田市につながるなと思いながら聞かせてもらったのは、磐田市のこれからの学校のあり方について、既に具体的に学校の統合とかということで動かれている事例の発表があったわけですけども、実は磐田市の教育長さんや教育委員さんとは4年前、松川町でサミットがあったときにも、磐田市の教育委員さん方、サミットが終わった後すぐに帰らずに飯田市にお泊まりになって、そのとき、せっかくお泊まりになるならということで、市内に戻ってきて磐田市の教育委員さん方と一緒にいろいろな内容の情報交換をしたことがあります。

その4年前のときに、既に磐田市では30年先のことを見通しながら、「地域の皆さんとどういう学校のあり方がいいだろうと、今、盛んに議論をしている」という話をされていたのです。その4年後の経過をこの間、教育長さんから発表いただいた。お聞きすると磐田市でも小中連携・一貫教育を一番のベースにしながら、学びの場について考えているという話で、学校の規模とか学区の状況などを考慮して、学校をこれからどうしていこうかを考えているということで、飯田市でもかなり参考になるというか、重なる部分があると思いました。個人的には、磐田市に出向いて、これからの学校のあり方等のことについて、学ばせてもらおうとありがたいと思ってお聞きしておりました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

私の報告事項を含め何かご質問、ご意見がありましたら、よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

(2) 教育次長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして（2）「教育次長報告事項」であります。

◎教育次長（秦野高彦） ありません。

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、その他を進めてまいります。

(3) 学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （3）「学校教育課関係報告事項」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは学校教育課からは3件、報告事項をお願いいたします。

まず、アとしまして、飯田市これからの学校のあり方審議会について、こちら特に資料はございませんが、明後日27日の木曜日19時から第2回の審議会を行う予定であります。

内容といたしましては、昨年度実施をいたしました保護者アンケート等の結果の説明、それから学級・学校の適正規模、それから特色ある学校づくり、魅力ある教育活動について報告・説明を行いまして、それぞれ審議会の皆様との意見交換を行う予定でございます。

それからイの三遠南信中学生交流について、こちらは資料No.3、18ページになりますが、先ほど教育長からの報告事項等にもございましたが、先日7月15日の土曜日の午前中ですが結団式を行い、こちら側の参加者（予定）のところの飯田市34名とありますが、9校から7月15日は1名欠席でしたが33名で結団式、それから名刺づくりやグループワークなどを行っております。

交流会の概要でございますが、上のねらい、それから主催は浜松市の教育委員会と3市の教育委員会合同ですが、開催日は8月10日木曜日1日の開催で日帰りでございます。

5の意見交換のテーマは「広げよう 三遠南信のWA」ということでございます。

交流の参加者、それから交流日程等についてはご覧いただければと思いますが、このように実施をするということで現在計画を進めております。

それから3点目の報告事項ですが、19ページこちらは先ほど同じく教育長より報告もございましたが、りんご並木70周年の記念事業といたしまして、看板改修資金を調達するクラウドファンディングを実施しております。

実施期間は、7月3日から8月25日ちょうど残り1カ月になりますが、プロジェクト名ですとか実施方法、内容を詳しくはご覧いただければと思いますが、先ほど教育長より昨日のお昼の時点で141万5,000円という報告がありましたが、本日のお昼の時点で107人から145万8,000円余りが集まっているという状況です。

7月4日の記者会見でそれぞれ報道等で既にご承知かと思いますが、学校教育課より報告をさせていただきます。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ご質問、ご意見は後でまとめて伺いたいと思います。

（4）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

伊藤課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 生涯学習・スポーツ課から3点お願いをいたします。

初めに第69回風越登山マラソン大会についてということで、開催要綱をお配りさせていただいております。

昨年度から日程につきましては、従前のスポーツの日に合わせてという形で今年度も開催をしておりますが、7月4日に記者会見を行いました、9月4日まで大会参加者の募集を行っている状況でございます。

おめくりいただいた真ん中左側でございますけれども、登山マラソンの部については白山から石灯籠まで3つのコースで従前と変わりございません。

あとみんなで走ろうの部につきましては、コースを1つにしながら、年代とか男女別ということで、いくつかの種目に分けて開催をしております。

あわせて今年度も大会運営を支えていただくボランティアスタッフについても募集をかけていくということで、今、取組を進めております。特に風越山に関係のある丸山小や西中、それから風越高校については、少し別のアプローチをしながら学校にもまたお願いに行っておりますが、そんなことで参加者の募集をかけております。

昨年度はまだまだコロナ前の状況まで至っておりませんので、そんな努力をしながら、来年度第70回という節目になりますので、そこに向けた大会ということで今、準備を進めております。

続きまして、第45回になります伊勢市との小学生交流についてでございます。最終ページ20ページをお願いいたします。

8月3日と4日の2日間、伊勢市との小学生交流ということで、今年度は飯田市から伊勢市を訪問するという年でございますので、久しぶりに実施をするということで、参加校につきましては丸山小・追手町小・浜井場小・上久堅小・千代小・千栄小の6校でございます。

5番の交流内容でございますけれども、伊勢市はカマボコの体験等ができますのでそういったことや、特に田中芳男が関わったと言われる神宮農業館、こちらの見学もできるということで、なかなか十分な事前学習取れませんでしたけれども、バスの中では少し田中芳男のことも学びながらということで計画していく予定でございます。

活動につきましては、班別行動ということで伊勢の子どもと一緒に班を編制しながらということで実施をしております。団長については、上久堅小学校の校長先生をお願いしながら、2日間の日程で行ってまいります。

もう1点、教育委員会の情報誌「H a g u」をお配りさせていただきました。夏休みの前ということで、それぞれ学校にお配りをさせていただいております。

1ページ目の表紙の部分では、古墳探検であったり、未来フェス 2023 であったり、それぞれの学校の職場体験活動ということで、キャリア教育に関するような活動の写真とあわせて掲載をしております。

おめくりいただいた見開きのところには、部活動の地域移行ということで、将来的には地域連携、地域クラブへの移行ということで、上にはそれぞれ地域の中で活動する中学生の様子取材したもので、4つの取組を掲載させていただいております。

下には今、検討が始まっております内容について、将来の目指す姿ですとか、あわせて全市型スポーツスクールの案内等を掲載し、最終ページにつきましては夏休みに様々な行事がありますのでそういった案内とともに、連載しておりますコミュニティスクールの取組紹介については、上久堅小学校の取組ということで掲載をさせていただいておりますので、またの時間があるときにごゆっくりご覧をいただければと思います。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（5）文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（5）「文化財保護活用課関係報告事項」。

宮下課長。

◎文化財保護活用課長兼考古博物館長（宮下利彦） 口頭となりますが、長野県天然記念物、川

路のネズミサシにつきまして経過報告をさせていただきます。

昨年 10 月に行いました樹木の内部診断で、倒木の危険性が非常に高いということで危険木の判定を受けまして、昨年 11 月から地元関係団体への説明会、意見交換・調整等を行ってまいりました。去る 7 月 4 日に開催されました川路地区まちづくり委員会で「伐採は大変残念であるが、住民等の安全確保のためやむを得ない」という考え方を整理していただきまして、翌日の 5 日に市へ回答いただきました。市としましては、台風シーズン前には伐採を完了したいと考えておりまして、今月 31 日の月曜日から伐採工事に着手し、お盆前までには完了したいと考えております。

また、伐採にあたりましては、県の天然記念物ですので、現状変更申請の手続きを取り、許可を受けております。

今後は跡地であったり、伐採をしました樹木の活用につきまして、地域と意見交換をしながら、市として可能な対応を検討してまいります。

報告は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（6）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （6）番へまいります。「公民館関係報告事項」。

上沼副館長。

◎市公民館副館長（上沼昭彦） 次第に記載がなくて恐縮です。本日 1 件、現在、飯田市公民館が取り組んでおります、高校生講座カンボジア・スタディツアーの資料をお配りさせていただきました。

本講座ですが、次代の地域を担う高校生を対象に、地域に誇りと愛着を持ちながらグローバルな視点で飯田を捉え、地域や自身の将来ビジョンを描ける人材の育成等を目的に実施している学習活動でありまして、平成 25 年度より実施しているところでございます。

新型コロナの感染拡大により令和元年度から事業が実施できなかったのですが、今年度はそれ以来の事業となります。

今年度は 5 校 15 名の高校生が参加いただいております、5 月より事前学習に取り組んでいるところでございます。カンボジアの現地学習が明日 7 月 26 日から 8 月 1 日まで実施をいたします。帰国後に、振り返り学習を実施し、10 月 29 日に学習報告会を実施する予定でございます。

裏面に全日程ですとか学習内容等を記載してございますので、また目を通していただければ

ば幸いです。

この学習会の組み立てですが、「飯田を知る事前学習」、「現地での学習交流」、「帰国後の振り返り学習」で構成をしております。現在、これまで事前学習に取り組んできたのですが、高校生たちは自分たちの住む地域について学び、自分自身のアイデンティティとなる「ものさし」づくりに取り組んできました。明日からの現地学習では、その「ものさし」と照らし合わせながら、カンボジアでの生活・社会・歴史・文化を肌で感じてもらってまいります。

帰国後の振り返り学習では、異なる体験の中での気づきや感覚を帰国後の学習によってひもづけて共有、学びを深めていく取組を進めてまいります。

この事業は、飯田市公民館が主催して実施しておりますが、NPO法人「ふるさと南信州緑の基金」に協力いただきながら実施をしております。

同NPO法人は、長きにわたりカンボジアの支援に携わっておりまして、伝統の森の中へ飯田小学校を建設したり、スナーダイ・クマエ孤児院の支援等、これまでもカンボジアの支援・復興を通じて現地と非常に強いつながりを持っております。このつながりを通じて、この高校生講座においても、学習内容等、一緒につくり上げ、また明日からの現地学習にはメンバーの皆さんにもご参加いただきながら、学習交流活動を進めていきます。

また10月からは、東北の震災復興の取組について、現地で活躍されている実践者から学ぶ高校生講座、東北スタディツアーの開催を予定しております。高校の夏の休み明けのタイミングで募集をかけまして、10月から事業を進められるよう取り組んでまいりたいと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（7）文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして「文化会館関係報告事項」。

下井館長。

◎文化会館館長（下井善彦） 2点ほど、お願いをいたします。

まずはニュースレターをお配りしました。ボリューム5ということになります。

これは新しい新文化会館の整備検討委員会をやっておりますが、その会議の報告ということをつくっております。今回は第6回の整備検討委員会がございましたので、その報告ということがございます。

中身はまたご覧いただきたいんですが、大体理念が固まってきたということで、これからは基本構想の策定に向けて皆さんと話し合いをしていくと、こういう段階になっております。

それからもう1点であります、いいだ人形劇フェスタのプログラムです。もうご家庭にお配りしておりますので、お手元にいつているかもしれませんが、この縦の蛇腹のやつですけれども、いよいよ来週、人形劇フェスタが開催されます。本当に暑い中ですが、お時間許す限りでぜひご参加いただくとありがたいと思っております。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（8）図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（8）「図書館関係報告事項」。

瀧本館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子） お願いします。

図書館から2点お願いします。1点目は、夏休みの図書館行事についてということで、本日お配りしました水色と黄色の紙をご覧いただければと思います。

学校の夏休みに合わせて図書館に親しんでいただく行事を行います。水色は、子ども向けの行事で8月3日に「こわ〜いおはなし会」、8月6日に「本の森で飛ばせ！かみひこうき大きくせん」ということで、夏休みですので、いつもと違う夜の時間に図書館に来ていただく計画をしております。

もう1枚黄色いほうが、若い世代を対象とした駅前図書館の企画です。ムトスぷらごの3階で「このセリフが熱い！」ということで自分の好きな小説や漫画の好きなセリフを持ち寄って、その本や漫画を紹介して読んでいただきたいという内容になっております。

もう1枚、「よむリス」という紙をお配りしました。こちらの図書リスト「よむリス」ですけれども、学校図書館の司書と市立図書館の司書が協働で令和2年度から作成してきたものです。

本を読むことの楽しさを知っていただくことと、学年を追ってだんだん読む力をつけていくということを目指してつくってきたもので、リストができた学年から配布して、これまで学校図書館や市立図書館で読んでいただけるように取り組んできました。今回の六年生版で全学年のリストができました。今後しばらくの間、必要な部分は改訂をしながら、

毎年子どもたちに配布をして活用を図ってまいりたいと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（9）美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（9）「美術博物館関係報告事項」。

牧内副館長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは8月の「びはくにゅーす」をご覧いただきたいと思います。

表紙は、展示の関係になって掲載してございますが、この中で7月1日から10月1日まで「驚異の部屋、長谷川善和コレクション」ということですが、御年93歳になります、美術博物館の顧問の長谷川善和先生が世界中から集めました古生物や本館所蔵の動物の骨格標本を展示しまして、これまでの研究の成果である論文を含めまして紹介しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

あと、夏休み期間中のイベントを紹介しています。いいだ人形劇フェスタ参加証ワッペンで無料観覧できること、美博と考古博物館、遠山郷の2館、秀水美人画美術館、含めました5館のスタンプラリー、あとは、8月12日「ワクワクびはくで夏休み」ということで、ワークショップを開催する 予定であります。

裏面に行きまして、プラネタリウムは、8月1日から8月18日までの夏休み期間につきましては土日と同様に毎日3回の投影を行いますので、そんなご案内をしておりますので、また興味のあるときにご来館いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（10）歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして「歴史研究所関係報告事項」。

牧内副所長

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは今日お配りしました第20回飯田市地域史研究集会のチラシをご覧いただきたいと思います。

本年度の地域史研究集会は、9月9日・10日に開催します。昨年は学制150周年を迎えまして、市内でいくつかの小学校で記念誌の発行や記念行事が行われましたが、今年度の

地域史研究集会は、この地域におきまして学校と地域がどのように関わり、人々の学びを支えてきたかに焦点を当てまして、飯田下伊那の学制と地域社会をテーマに開催する予定でおります。

1日目は第1部としまして、「飯田下伊那における学びのあゆみ」としまして青山学院大学の木村 元さんに講演をお願いしまして、地元の初等教育・中等教育・個人の自己形成の実現につきまして3名の報告をいただきます。

2日目は自由論題として、教育委員会と歴史研究所2人の学芸員と研究員によります事例の発表の後に、第2部としまして、「学びの歴史を記録し引き継ぐ」としまして、現在地元で取り組まれている地域や学校の歴史を学び、記録して、未来に継続する事例2件と、閉校しました学校を利活用する取組事例1件につきまして、それぞれ報告をしていただきます。それらを通じまして、人々の学び合いをめぐる地域と学校の関係について考える機会として考えております。会場は、市役所3階の会議室で定員80名としております。あとはZ o o mによりますオンラインを併用とした開催となりますので、8月1日から申し込み開始とさせていただきます。

ぜひ時間がありましたらご参加いただきますようお願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

学校教育課から歴史研究所まで今、報告をいただきましたけれども、ご質問、ご意見がございましたらご発言いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

野澤委員、お願いします。

◇教育委員（野澤稔弘） 六年生の本の紹介で星 新一と和田 誠、いいなと思いました。あと、ミヒャエル・エンデの『モモ』が入っているのがすごくうれしいと思いました。

◎中央図書館長（瀧本明子） ありがとうございます。

◇教育委員（野澤稔弘） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

そういうご感想を含めて何かご意見いかがでしょうか。

上河内委員。

◇教育委員（上河内陽子） 感想です。

第45回伊勢市との小学生交流会が開催されるということで、私も小学生の頃、参加した記憶があります。これは何度もお話したかもしれませんが、ものすごい強烈な印象として今でも私の中に残っています。

伊勢に行ったと思います。そしてそこで同じ歳の女の子と交流をしながら、その子は貝殻に絵を描いたようなものをプレゼントしてくれました。山に住む私としては、貝殻でプレゼントをもらったというのがすごく嬉しくて、なんかこういつまでも心に残ってお手紙を書いたりとかしたという記憶があって、今でもそういったのかワクワク感はずっと残っています。

この年代の子どもたちが違うところで住んでいる人たちと交流ができるという機会、本当に素晴らしいと思います。三遠南信の中学生の交流会も開かれると思いますし、またカンボジアの交流ツアーというのもあると思います。そういった自分が住んでいる土地とは違うところにいる、そういう人たちとの出会い。それですぐ豊かになるし、垣根が越えられる体験というものにつながっていくなというふうに思いますので、本当にコロナが終わってこのような活動が活発になってきたことをすごく嬉しく思います。

スタッフの皆様、大変かと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

北澤職務代理。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 今、三遠南信の中学生交流の話があったのですが、最初は豊橋市が入ってなくて、飯田市と浜松市との中学生交流から始まっているのです。平成の始まった直後ぐらいだったと思うのですが、その第1回は飯田市から浜松市へ中学生が行っての交流でした。その1回目とき、実は私、学校職員で飯田市の中学生たちを連れて浜松市に行くことになって、事前に浜松市に出向き、交流内容等について打ち合わせをしたり、下見をしたりして、中学生が少しでも活躍できるようにと配慮した思い出があります。一泊して向こうの中学生たちと交流をしてという企画だったのですが、10万人の飯田市に対して浜松市は56万人くらいの時でした。向こうの中学生の人数もすごい人数が来て、夏なのでそれぞれの学校の運動着、ジャージを着て集合したのですが、世の中にこんなにたくさんのジャージの色があるんだなとすごく感激したというか。

そんな中で、私、竜東中学で行ったのですが、生徒はその当時オレジャーと呼んでいましたけれど、オレンジ・ジャージーと口では言いながら真っ黄色なのです。さすがにその何種類もあるジャージの色の中で真っ黄色というのは全くなくて、この色はどこにいても自分の学校の生徒がいるとすぐに分かる。先人たちは、昭和49年に竜東中に統合しているのですが、こんな目立つ色をよく昭和49年の段階で選定したものだなと、くだらないところで感動したりしたものです。

くだらない話は置いて、中学生たちは浜名湖で浜松の中学生たちと飯田市の中学生たち

が一緒になってカッターボートを漕ぐ。自分の学校の生徒会の取り組みなどをグループで発表し合うなどの体験をさせてもらって、子どもたちは、たった二日間の体験だったのですけれど、行ってきた子たちはその後の立ち振る舞いが違うというか、中学生として視野が広がったというのでしょうか。そんな姿を見てこういう実体験をすることは、グンと育つなということを感じました。

いくつもの夏の体験活動の予定の発表がありました。明日出発する高校生もいますが、こういう機会に子どもたちはだんだんと育つのではなくて、こういう経験の中で一気にグンと育つということもあるので、ぜひそんな機会にしてもらおうと嬉しいと思いました。

くれぐれも事故に気をつけて行ってきてもらいたいと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

三遠南信は、ちょっと向こうの会場の都合で一泊が今回は日帰りということであります。

そのほかよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

ぜひ皆さんの思いをあいさつのところでお伝えできればなと思います。

(11) 今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） それでは今後の日程につきまして。

櫻井課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼総務係長（櫻井英人） それでは資料の3ページをご覧くださいと思います。

明日26日、市町村教委と県教委の懇談会、オンラインでございますが、教育長と職務代理の出席となります。

8月2日は、第1回総合教育会議が10時からでございます。

また、8月3日と8月6日には、いいだ人形劇フェスタのオープニングセレモニー、クロージングセレモニーがございます。

8月の定例会は8月25日になります。

また、本日は教育委員さんのお手元に学校訪問の日程を置かせていただきました。10月2日から11月29日までのうちの9日間となりますが、教育委員会の学校訪問を予定いたしました。

以上、よろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） 以上、報告事項でございます。

これで全て議案等は終わりになりますが、ご発言等ございますか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

日程第 10 閉 会

○教育長（熊谷邦千加） では日程第 10、以上をもちまして 8 月定例会を終了とします。ありがとうございました。

閉 会 午後 4 時 2 0 分